

モニタリングポスト田野局の移設について

令和7年5月19日
佐賀県環境センター

1 はじめに

佐賀県が設置しているモニタリングポスト測定局（26局）のうち、令和6年度中に移設を予定していた田野局（発電所の南方約10.5km）について、令和7年3月に移設作業が完了しましたので報告します。

2 移設概要

◇所在地：（移設前）唐津市肥前町田野甲1287-10

（移設後）唐津市肥前町田野甲1016付近

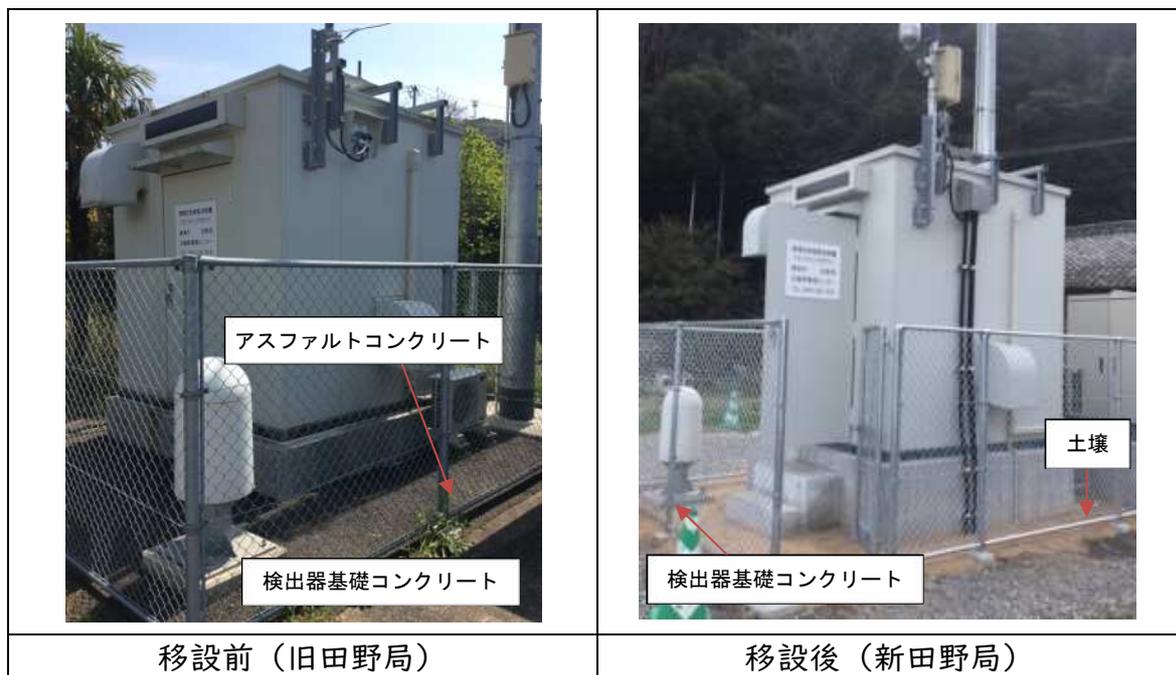
◇移動距離：南西に約500m移動

◇移設概要：局舎、検出器、その他設備等は既存設備を流用し、各設備基礎は新設

◇工事期間：令和7年1月9日～令和7年3月14日



国土地理院タイルより作成



3 移設に伴う測定データの確認について

(1) データ欠測期間の代替測定（実績：R7.2.1～2.28）

移設工事に伴うデータ欠測期間については、旧田野局舎付近に可搬型モニタリングポストを設置して代替測定を実施し、空間放射線量率を測定し、異常のないことを確認しました。

◇可搬型モニタリングポストの測定値

最大値 80nGy/h、最小値 29 nGy/h、平均値 35nGy/h

(2) 移設前後のデータの比較

移設前の測定値と比較し、移設後は数 nGy/h 程度の測定値の上昇がありました。移設前後の土壌、基礎コンクリートの放射能濃度の測定結果から、移設前後での検出器設置環境の違いによるものと考えています。

◇局舎移設前後の測定値比較（電離箱式検出器）

	測定値（平均値）	測定期間
移設前（旧田野局）	75 nGy/h	R6.12.9～R7.1.9
移設後（新田野局）	81 nGy/h	R7.3.1～3.31



◇（参考）可搬型モニタリングポスト（NaI(Tl)シンチレーション式検出器）での測定値比較

	測定値（平均値）	測定期間
旧田野局設置	35 nGy/h	R7.1.31～2.28
新田野局設置	41 nGy/h	R7.3.31～4.16



◇設置環境をサンプリングした試料のゲルマニウム半導体検出器による放射能濃度測定結果※¹ (単位:Bq/kg)

	旧田野局		新田野局	
	¹³⁷ Cs	⁴⁰ K	¹³⁷ Cs	⁴⁰ K
局舎敷地地表※ ²	ND	420	0.93	630
検出器基礎コンクリート	ND	560	ND	640

※¹ 表中の核種以外の、環境放射能調査で調査対象核種としている⁶⁰Co等についてはいずれもNDでした。

※² 局舎敷地地表は、旧田野局はアスファルトコンクリート、新田野局は土壌